東京大学大学院農学生命科学研究科 附属水産実験所 助教 公募

1	職名	助教
2	募集人数	1名
3	採用予定日	令和7年4月1日(予定)
4	任期	あり5年。再任可、ただし、1回限り(任期5年以内)
		更新は、従事している業務の進捗状況、勤務成績、勤務態度、健康状況、予算の状況、契約 期間満了時の業務量等を考慮のうえ判断する。
5	勤務地	静岡県浜松市中央区舞阪町弁天島2971-4 東京大学 水産実験所
		変更の範囲:本学の指定する場所(配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)
6	所属□	大学院農学生命科学研究科 附属水産実験所 水産増養殖学研究室
7	業務内容	1) 水産増養殖学または水産遺伝学分野における研究・教育
		2) 水圏生物科学実習(部分)、臨海実習、全学体験ゼミ、水圏生産システム学特論、水圏 生産システム学演習、水圏生産システム学特別演習、生圏システム学特論、水圏生物システム学演習等の講義・実習を担当する。
		3) 他の教職員と協力して、水産実験所の管理運営を行う。
		変更の範囲:配置換、兼務及び出向を命じることがある(意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)
8	就業時間	専門業務型裁量労働制(1日7時間45分働いたものとみなされます。)
9	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日~1月3日) 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
10	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了/34万円〜 諸手当、賞与(年2回)、通勤手当(原則55,000円まで)の他、本学の定めるところによる。
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険 (法令の定めるところにより加入)
	応募資格□	1) 博士号取得者(または採用日までに取得見込の者)
		2) 水産増養殖学または水産遺伝学分野で優れた研究業績をもつ方
12		3) 他の教職員と協力して、「業務内容」欄に挙げる業務内容を積極的に担当できる方
		4) 実験所における研究と学生の教育指導に熱意を持って取り組むことができる方
		5) 国籍は問いませんが、日本語のコミュニケーション能力を必要とします
	提出書類	1) 履歴書(東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。)
		https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html
		2) 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書
		https://www.a.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/job/shobunrekitoushinkokusho.docx
10		3) 研究業績目録(著書、原著論文、総説、その他)
13		4) 教育業績(形式は自由)
		5) 社会貢献(形式は自由)
		6) これまでの研究の概要(2000字程度)
		7) 今後の研究・教育に関する抱負(2000字程度)
		8) 自己の研究・教育経歴等について評価できる方の氏名・職名・連絡先(2名)
		9) 主要論文別刷3編程度(コピー可)
14	応募締切	令和6年12月28日(土)必着
		書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。

	書類送付先 及び 問い合わせ先	〒431-0214 静岡県浜松市中央区舞阪町弁天島2971-4
		東京大学 水産実験所 所長代理 菊池潔
		TEL: 053-592-2821
		E-mail: akikuchi[at]ecc.u-tokyo.ac.jp ([at]は@に置き換えてください)
		応募する旨を上記メールアドレスにEメールで連絡するとともに、上記の提出書類を1つのpdfファイルにまとめ、クラウド経由で送付し、パスワードを別メールで連絡してください。当方から受領通知のメールが届かない場合(平日24時間以内)は、E-mailなどでご確認ください。
16	試用期間	採用日から6ヶ月間
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。
		取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。
		東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。
		受動喫煙防止措置の状況:敷地内禁煙(屋外に喫煙場所あり)
		採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭 その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、 結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当 該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。
		英語の能力を考慮します。